

オオヒョウタンゴミムシ

Scarites sulcatus

兵庫県：Aランク

環境省：準絶滅危惧 (NT)

種の概要

体長28～38mm（大あごを含めると43mm）。黒色。大型で中胸の前端が柄状にのびてそこに小楯板があり、大あごがいちじるしく発達している。前脛節が掌状に広がっている。頭楕の中央に1対の剛毛孔点がある。中脛節外縁の棘は2本。海岸や河原の砂浜に生息し、深い坑道を掘る。小動物や小昆虫を捕食する。



写真提供：近藤伸一

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

西宮市、高砂市、三木市、南あわじ市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○	○		○



特記事項

近年の生息情報はああるものの、絶滅危惧の状況は変わっていない。生息に適した砂地環境はほとんど見られないが、最近の三木市の記録のように内陸部の河川周辺で得られた例もある。

保護上の留意点